

普及活動情勢報告（平成29年5月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

安定した収量を目指して！～オクラ現地検討会を開催～



現地検討会

5月9日、オクラ部会員のほ場を利用して現地検討会を開催し、生産者6名が参加しました。

J Aは農薬一覧や防除日誌を配布し農薬の適正使用を、農業改良普及課は今後の管理や樹勢の見方、天敵を利用した防除技術について説明しました。

参加者からは、ほ場に放飼している天敵のスワルスキーカブリダニを見つけることや、摘葉や防除といった今後の管理について質問が出されるなど、安定した収量を目指した意識の向上が見られました。

農業改良普及課は、今後もJ Aと連携し収量の安定化や増収に向けて支援していきます。

安全・安心の出荷体制へ！～中土佐町直販所の農産物栽培講習会～



直販講習会

5月9日・15日の2日間、直販所栽培講習会を開催し、2日間で計30名が参加しました。

中土佐町役場からは、生産履歴の提出や栽培カレンダーについて説明し、農業改良普及課は夏野菜の栽培、農薬の安全使用や食品表示について説明しました。

参加者からは、「賞味期限の設定方法は」「ハブ茶の農薬登録はできないか」などの意見が出ました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し直販所の安全安心と安定出荷に向けて支援していきます。

大野見米をもっと美味しく～おおのみエコロジーファーマーズ総会～



総会で検討中

4月28日、中土佐町役場大野見庁舎にて、おおのみエコロジーファーマーズ総会が開催され生産者4名が参加しました。

総会では活動実績報告、収支決算報告、予算、活動計画について検討されました。農業改良普及課からは、28年産米の品質調査結果の報告と栽培暦の確認を行いました。

生産者は食味値の向上に意欲を見せており、堆肥の使用時期などについて話し合われました。

農業改良普及課は、今後も中土佐町と連携し収量の安定化や食味の向上に向けて支援していきます。

新たな稲の育苗方法に挑戦！～大野見野の風が稲の育苗方法について視察～



視察の様子

農事組合法人「大野見野の風」では、発酵用飼料(WC S)用稲の栽培に取り組んでいます。4月21日、育苗方法の異なる四万十町の営農支援センターの育苗方法を検討しようと、3名が研修を行いました。

4月27日にはこれを参考に飼料用稲‘たちすずか’の播種を行いました。播種後の生育は順調で、5月下旬に予定している作付面積は1.8haになる見込みです。

農業改良普及課は、生育調査や栽培技術指導等の飼料用稲栽培への支援をとおして発展を図っていきます。